



2026年8月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 タ ウ ン ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 野中雅貴
(コード番号： 197A 東証スタンダード市場)
問い合わせ先 取締役 C F O 内山義雄
TEL. 055-953-9590

Asia Pathogenomics Co., Ltd.との資本業務提携に関するお知らせ

株式会社タウンズ（本社：静岡県伊豆の国市、代表取締役社長：野中 雅貴、証券コード：197A、以下「当社」）と亞洲準譯股份有限公司（Asia Pathogenomics Co., Ltd.、本社：台湾新北市、董事長：劉 君豪、以下「APG」）は、APG の発行する普通株式を当社が引き受けたこと、並びに、日本において共同で、感染症のメタゲノム次世代シーケンシング（Metagenomic Next-Generation Sequencing, mNGS）事業を進めること、あわせて、タウンズの臨床検査センターである「タウンズ クリニカルラボ」における NGS 検査体制の拡充を進めていくことに基本合意したことをお知らせいたします。¹

1. 業務提携を進める背景・狙い

APG は、メタゲノム次世代シーケンシング（mNGS）技術を用いて、患者検体中の病原体の遺伝子を網羅的に検出し、独自開発の病原体解析システムおよび地域特化型病原体ゲノムデータベースに基づいた解析をする高精度な感染症検査サービスを提供しております。APG は感染症 mNGS サービスを、台湾政府の承認を得て実用化している唯一の企業です。

当社は、中期経営計画の中で、受託検査を新たな検査プラットフォームの一つに掲げ、タウンズ クリニカルラボへ最先端の検査機器を導入し、マルチオミクスの受託検査サービスの提供を進めています。本取り組みを加速させるため、APG の技術と経験、実績を活かし

¹ NGS Next-Generation Sequencing の略。次世代シーケンシング（または、次世代シーケンサー）。DNA の塩基配列を高速かつ大量に解析する技術。従来のサンガー法では 1 つの DNA 断片を逐次的に解析していたが、NGS では多数の DNA 断片を並列に解析することで、短時間で膨大なデータを取得できる。がんゲノム医療や遺伝性疾患の研究、感染症診療など、さまざまな分野での活用が期待されている。

て次世代型の受託検査サービス体制の構築を加速し、社会課題の解決に貢献することを目指してまいります。

2. 提携先の概要

(1) 名称	亞洲準譯股份有限公司 (Asia Pathogenomics Co., Ltd.)
(2) 所在地	新北市汐止區新台五路1段93號9樓之12
(3) 代表者の役職・氏名	董事長 劉君豪
(4) 事業内容	病原体検査サービス
(5) 設立年月日	2020年1月7日
(6) コーポレートサイト	https://www.asiopathogenomics.com/

3. 両社コメント

株式会社タウンズ 代表取締役社長 野中雅貴コメント

日本では高齢化の進展に伴い医療需要が拡大する中で、限りある医療リソースの効率的な活用が重要になっており、診断技術の果たす役割はますます大きくなっています。

当社は中期経営計画において、「診断技術とデータ・AI で、社会課題を解決する」をビジョンに掲げ、診断技術とデータ・AI を融合することで新たな検査技術を産み出し、社会全体の診断フローの最適化に貢献していくことを目指しております。

NGS 検査体制の拡充は、当社にとって重要な戦略の一つです。なかでも、APG が有する mNGS 技術は、検体中の病原体の遺伝子を網羅的に解析し、高精度かつ見落としの少ない感染症検査を可能にする先進的な技術です。

APG は、NGS に関する卓越した技術・実績を有する重要なパートナーであり、このたび業務提携に至ったことを大変喜ばしく思います。

今回の提携を通じて、日本における感染症診断フローの更なる高度化に貢献してまいります。

亞洲準譯股份有限公司 (Asia Pathogenomics Co., Ltd.) 董事長 劉君豪コメント

私たちは、このたび、タウンズと資本・事業提携を締結するに至ったことを光栄に感じております。最初のミーティング時より、両社が診断医療の発展とイノベーションを通じた長期的な価値創造という共通のビジョンを持っていることを認識していました。

タウンズの明確なビジョン、強力なリーダーシップ、そして新しい技術を積極的に取り入

れる姿勢には深く感銘を受けています。次世代シーケンシング、バイオインフォマティクス、病原体ゲノム解析における APG の経験と専門知識を共有しつつ、将来の NGS 開発のしっかりとした基盤を共に築いていくことを楽しみにしています。

この提携は長期的な協力関係の始まりだと信じています。それぞれの強みを組み合わせ、日本の臨床や産業のパートナーと共に協力することで、次世代の感染症診断の進展など、将来的な協働やイノベーションの幅広い機会を生み出し、最終的にはより良い患者ケアに貢献できることを願っています。

4. 今後の見通し

現時点で、本基本合意が当社の当面の業績に与える影響は軽微であると考えておりますが、重要な影響を与えることが判明した場合には速やかに開示します。

5. その他

本基本合意の詳細については、当事者間の合意により一部非開示としております。

以 上